

鳥屋野潟公園線 歩道照明



所在地(事業区間):新潟県新潟市中央区長潟~中央区南長潟
区間延長:780m
照明工事完成:平成21年10月

新潟市の市道弁天線からHARD OFF ECOスタジアム新潟や東北電力ビッグスワンスタジアム間は歩行者も多い路線。このため歩行者の安全な通行が確保できるように、環境に優しいLED防犯灯が採用されました。

新潟・鳥屋野潟公園線の新しい歩道に安全・快適なLED防犯灯を採用

新潟市の鳥屋野潟公園線は、沿線に鳥屋野潟公園や新潟市民病院、新潟勤労者福祉センターなどがあり、また、近年は公共施設の集積として開発が進捗しており、新潟スタジアム(東北電力ビッグスワンスタジアム)や新潟県立野球場(HARD OFF ECOスタジアム)などの整備も加わり、車はもちろん、歩行者の往来も多い路線となっています。このため、市道弁天線からスタジアムまでの歩道に対して、安全性と快適性を兼ね備えた環境に優しいLED防犯灯が採用されました。

高い省エネとCO₂削減を図りながら光害防止に配慮したLED防犯灯

採用されたLED防犯灯(20VA用)は、水銀ランプ40W器具相当の明るさを16.5Wの小電力で実現し、CO₂排出量も大幅な削減(約70%減)を可能にしているほか、光源の長寿命化(40000時間)による省メンテナンスやランプ交換費用も軽減されています。工事区間延長約780mの車道両側に配されている歩道(幅員3.5m)に対して、車道と歩道との植栽の位置にLED防犯灯を基本16mピッチで合計101台設置。道路の両側に沿って田畑が並んでいるため、その栽培に影響を与えないように照明ポールは3.5m高さ(特注)の低めにして使用し、灯具取付角も9°に設定して歩道進行方向へワイドに配光しながら田畑への漏れ光を抑制しています。また、LEDの特長の一つでもある、紫外線ほぼゼロにより、目ざわりな虫の寄りつきもなく、虫による汚れも回避されています。

これにより、通勤帰りやスポーツ観戦後の夜の帰路を安全かつ快適に歩行できる十分な明るさ(路面平均照度3lx、鉛直面照度0.5lxを確保、クラスBを設定)を得ながら、車道に対しても不快な眩しさのない視環境を創出。同時に、市民へは環境に対する関心をさらに高めています。



LED防犯灯が合計101台採用された新潟市中央区長潟~中央区南長潟区間延長約780m区間



LED防犯灯が設置された市道弁天線側からスタジアム方向を望む、鳥屋野潟公園線の歩道照明
スタジアム方向から市道弁天線方向を望む、鳥屋野潟公園線の歩道照明
植込に設置されたLED防犯灯

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	灯数	備考
新潟市中央区長潟~中央区南長潟	LED防犯灯	LEDK-70921W-LS8	101	LED消費電力:16.5W